

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年7月30日

【四半期会計期間】 第27期第2四半期(自平成23年7月1日至平成23年9月30日)

【会社名】 株式会社エフティコミュニケーションズ

【英訳名】 F T COMMUNICATIONS CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 平崎敏之

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋蛸殻町二丁目13番6号

【電話番号】 03(5847)2777(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員 社長室長 山本博之

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋蛸殻町二丁目13番6号

【電話番号】 03(5847)2777(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員 社長室長 山本博之

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

当社では、過年度に不適切な取引及び会計処理が行われている疑義が判明し、外部の第三者調査委員会による事実関係の解明等を行ってきましたが、平成24年7月24日に調査結果を受領いたしました。

当社では、第三者調査委員会による調査及びその後の社内調査の結果を受けて、当社におけるLED蛍光灯に係る売上計上時期、当社役員等からの借入及び子会社における在庫の返品処理に関する会計処理を検討し、過年度における四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項があるとの判断に至りましたので、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、平成23年11月に提出した第27期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

また、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所については、XBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表については、三優監査法人により四半期レビューを受け、その四半期レビュー報告書を添付しております。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 業績の状況

(2) 財政状態の分析

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

第4 経理の状況

2 監査証明について

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2 四半期連結累計期間

四半期連結包括利益計算書

第2 四半期連結累計期間

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

(セグメント情報等)

セグメント情報

(1株当たり情報)

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____線で示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第26期 第2四半期 連結累計期間	第27期 第2四半期 連結累計期間	第26期
会計期間	自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高 (千円)	19,457,611	22,037,512	41,659,566
経常利益 (千円)	226,242	453,416	505,161
四半期(当期)純利益 (千円)	136,882	209,015	261,498
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	138,001	229,470	295,413
純資産額 (千円)	4,396,750	4,669,447	4,350,734
総資産額 (千円)	13,965,317	15,973,563	15,904,741
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	1,272.82	1,939.30	2,431.55
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	1,256.28	1,897.86	2,389.71
自己資本比率 (%)	24.8	22.7	22.3
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	145,830	611,736	707,445
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	111,379	160,621	245,823
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	128,223	752,584	442,790
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	2,693,036	2,520,604	3,727,040

回次	第26期 第2四半期 連結会計期間	第27期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	1,748.93	1,537.50

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第26期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

4. 第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)を適用しております。当該会計方針の変更は遡及適用され、第26期第2四半期連結累計期間及び第26期連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、遡及処理後の数値を記載しております。

(訂正後)

回次		第26期 第2四半期 連結累計期間	第27期 第2四半期 連結累計期間	第26期
会計期間		自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高	(千円)	19,457,611	22,176,262	41,520,816
経常利益	(千円)	226,242	463,319	493,581
四半期(当期)純利益	(千円)	136,882	218,918	251,595
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	138,001	239,373	285,510
純資産額	(千円)	4,396,750	4,669,447	4,340,831
総資産額	(千円)	13,965,317	15,973,563	15,838,341
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	1,272.82	2,031.18	2,339.41
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	1,256.28	1,987.79	2,293.46
自己資本比率	(%)	24.8	22.7	22.3
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	145,830	741,736	707,445
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	111,379	160,621	245,823
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	128,223	622,584	442,790
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	2,693,036	2,520,604	3,727,040

回次		第26期 第2四半期 連結会計期間	第27期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	1,748.93	2,201.28

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第26期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

4. 第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)を適用しております。当該会計方針の変更は遡及適用され、第26期第2四半期連結累計期間及び第26期連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、遡及処理後の数値を記載しております。

第2 【事業の状況】

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(訂正前)

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

～中略～

以上により、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、平成23年1月より開始したLED事業の増収等により前年同四半期の19,457百万円から13.3%増加し、22,037百万円となりました。

また、引き続き実施しているコストコントロール等により収益改善が図れ、営業利益は前年同四半期の215百万円から239百万円増加し、454百万円となりました。経常利益は前年同四半期の226百万円から227百万円増加し、453百万円となり、四半期純利益は前年同四半期の136百万円から72百万円増加し、209百万円となりました。

なお、各セグメントにおける業績は、下記のとおりであります。

(法人事業)

法人向け販売におきましては、引き続きビジネスホン等の通信機器及び複合機等のOA機器の販売強化並びにパートナー企業の開拓に注力しました。東日本大震災でのメーカーの被災によるビジネスホン等の商品不足があったものの、新商材としてスマートフォン対応商材及びクラウド型商材の販売並びにLED照明「L - e e D o (エルイー ド)」のレンタルを開始し、売上の確保を図りました。携帯電話販売におきましては、業務の効率化による収益確保に努めました。WEB商材におきましては、前期において増加した販売拠点での営業推進を強化しました。電気通信設備工事・保守におきましては、当社グループ内の工事・保守業務の効率化を推進するとともに、当社グループ外の電気通信工事案件の受注に努めました。LED事業(製造受託販売)におきましては、受注獲得、LED照明の安定的供給体制の確保並びに販売代理店の開拓による新たな販売チャネルの構築を推進しました。

以上により、売上高は前年同四半期の7,200百万円から3,119百万円増加し、10,319百万円となり、セグメント利益(営業利益)は、前年同四半期の201百万円から323百万円増加し、525百万円となりました。

～中略～

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ68百万円増加し、15,973百万円となりました。これは、現金及び預金が1,170百万円及び投資その他資産が110百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が997百万円、商品が537百万円増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ249百万円減少し、11,304百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が303百万円増加したものの、短期借入金が525百万円、1年内償還予定の社債が100百万円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ318百万円増加し、4,669百万円となりました。これは、利益剰余金が101百万円、少数株主持分が232百万円増加したこと等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ1,206百万円減少し、2,520百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、611百万円の支出(前年同四半期は145百万円の支出)となりました。これは、主として、税金等調整前四半期純利益372百万円を計上し、仕入債務の増加が303百万円、未払金の増加が209百万円あったものの、売上債権の増加が1,072百万円、たな卸資産の増加が510百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、160百万円の収入(前年同四半期は111百万円の支出)となりました。これは、主として、連結の範囲の変更に伴う子会社株式の取得による収入が278百

万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、752百万円の支出(前年同四半期は128百万円の収入)となりました。これは、主として、長期借入れによる収入が300百万円あったものの、短期借入金の純減少額が525百万円、長期借入金の返済による支出が290百万円あったこと等によるものであります。

～後略～

(訂正後)

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

～中略～

以上により、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、平成23年1月より開始したLED事業の増収等により前年同四半期の19,457百万円から14.0%増加し、22,176百万円となりました。

また、引き続き実施しているコストコントロール等により収益改善が図れ、営業利益は前年同四半期の215百万円から249百万円増加し、464百万円となりました。経常利益は前年同四半期の226百万円から237百万円増加し、463百万円となり、四半期純利益は前年同四半期の136百万円から82百万円増加し、218百万円となりました。

なお、各セグメントにおける業績は、下記のとおりであります。

(法人事業)

法人向け販売におきましては、引き続きビジネスホン等の通信機器及び複合機等のOA機器の販売強化並びにパートナー企業の開拓に注力しました。東日本大震災でのメーカーの被災によるビジネスホン等の商品不足があったものの、新商材としてスマートフォン対応商材及びクラウド型商材の販売並びにLED照明「L - e e D o (エルイード)」のレンタルを開始し、売上の確保を図りました。携帯電話販売におきましては、業務の効率化による収益確保に努めました。WEB商材におきましては、前期において増加した販売拠点での営業推進を強化しました。電気通信設備工事・保守におきましては、当社グループ内の工事・保守業務の効率化を推進するとともに、当社グループ外の電気通信工事案件の受注に努めました。LED事業(製造受託販売)におきましては、受注獲得、LED照明の安定的供給体制の確保並びに販売代理店の開拓による新たな販売チャネルの構築を推進しました。

以上により、売上高は前年同四半期の7,200百万円から3,258百万円増加し、10,458百万円となり、セグメント利益(営業利益)は、前年同四半期の201百万円から333百万円増加し、535百万円となりました。

～後略～

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ135百万円増加し、15,973百万円となりました。これは、現金及び預金が1,170百万円及び投資その他資産が110百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が1,143百万円、商品が459百万円増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ193百万円減少し、11,304百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が327百万円増加したものの、短期借入金が395百万円、1年内償還予定の社債が100百万円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ328百万円増加し、4,669百万円となりました。これは、利益剰余金が111百万円、少数株主持分が232百万円増加したこと等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ1,206百万円減少し、2,520百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、741百万円の支出(前年同四半期は145百万円の支出)となりました。これは、主として、税金等調整前四半期純利益381百万円を計上し、仕入債務の増加

が328百万円、未払金の増加が106百万円あったものの、売上債権の増加が1,218百万円、たな卸資産の増加が433百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、160百万円の収入(前年同四半期は111百万円の支出)となりました。これは、主として、連結の範囲の変更に伴う子会社株式の取得による収入が278百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、622百万円の支出(前年同四半期は128百万円の収入)となりました。これは、主として、長期借入れによる収入が300百万円あったものの、短期借入金の純減少額が395百万円、長期借入金の返済による支出が290百万円あったこと等によるものであります。

~ 後略 ~

第4 【経理の状況】

～中略～

(訂正前)

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、三優監査法人による四半期レビューを受けております。

(訂正後)

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、三優監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、三優監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,942,635	2,772,096
受取手形及び売掛金	<u>6,066,309</u>	7,063,635
商品	<u>2,048,090</u>	2,585,607
原材料及び貯蔵品	22,204	24,479
その他	1,011,972	970,561
貸倒引当金	<u>123,523</u>	174,139
流動資産合計	<u>12,967,688</u>	13,242,240
固定資産		
有形固定資産	1,254,116	1,236,401
無形固定資産		
のれん	170,167	100,967
その他	158,129	149,444
無形固定資産合計	<u>328,296</u>	250,411
投資その他の資産		
その他	1,361,822	1,251,064
貸倒引当金	7,182	6,554
投資その他の資産合計	<u>1,354,640</u>	1,244,509
固定資産合計	<u>2,937,053</u>	2,731,323
資産合計	<u>15,904,741</u>	15,973,563
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	<u>3,804,692</u>	4,107,991
短期借入金	2,659,000	<u>2,134,000</u>
1年内返済予定の長期借入金	1,631,712	1,670,912
1年内償還予定の社債	200,000	100,000
未払法人税等	111,479	86,662
賞与引当金	165,032	200,804
返品調整引当金	16,711	27,203
その他	<u>1,832,064</u>	<u>1,891,312</u>
流動負債合計	<u>10,420,691</u>	10,218,886
固定負債		
長期借入金	969,100	939,644
退職給付引当金	36,537	39,204
その他	127,678	106,381

固定負債合計	<u>1,133,315</u>	<u>1,085,230</u>
負債合計	<u>11,554,006</u>	<u>11,304,116</u>

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,160,320	1,160,867
資本剰余金	1,089,422	1,089,969
利益剰余金	<u>1,635,126</u>	1,736,336
自己株式	330,036	330,036
株主資本合計	<u>3,554,833</u>	<u>3,657,137</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,062	6,209
繰延ヘッジ損益	13,485	14,610
為替換算調整勘定	11,783	14,766
その他の包括利益累計額合計	<u>9,207</u>	<u>35,585</u>
新株予約権	34,116	44,255
少数株主持分	770,991	1,003,639
純資産合計	<u>4,350,734</u>	<u>4,669,447</u>
負債純資産合計	<u>15,904,741</u>	<u>15,973,563</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,942,635	2,772,096
受取手形及び売掛金	5,920,621	7,063,635
商品	2,125,700	2,585,607
原材料及び貯蔵品	22,204	24,479
その他	1,011,972	970,561
貸倒引当金	121,846	174,139
流動資産合計	12,901,287	13,242,240
固定資産		
有形固定資産	1,254,116	1,236,401
無形固定資産		
のれん	170,167	100,967
その他	158,129	149,444
無形固定資産合計	328,296	250,411
投資その他の資産		
その他	1,361,822	1,251,064
貸倒引当金	7,182	6,554
投資その他の資産合計	1,354,640	1,244,509
固定資産合計	2,937,053	2,731,323
資産合計	15,838,341	15,973,563
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,780,279	4,107,991
短期借入金	2,659,000	2,264,000
1年内返済予定の長期借入金	1,631,712	1,670,912
1年内償還予定の社債	200,000	100,000
未払法人税等	111,479	86,662
賞与引当金	165,032	200,804
返品調整引当金	16,711	27,203
その他	1,799,979	1,761,312
流動負債合計	10,364,193	10,218,886
固定負債		
長期借入金	969,100	939,644
退職給付引当金	36,537	39,204
その他	127,678	106,381
固定負債合計	1,133,315	1,085,230

負債合計

11,497,509

11,304,116

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,160,320	1,160,867
資本剰余金	1,089,422	1,089,969
利益剰余金	<u>1,625,223</u>	1,736,336
自己株式	330,036	330,036
株主資本合計	<u>3,544,930</u>	<u>3,657,137</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,062	6,209
繰延ヘッジ損益	13,485	14,610
為替換算調整勘定	11,783	14,766
その他の包括利益累計額合計	<u>9,207</u>	<u>35,585</u>
新株予約権	34,116	44,255
少数株主持分	770,991	1,003,639
純資産合計	<u>4,340,831</u>	<u>4,669,447</u>
負債純資産合計	<u>15,838,341</u>	<u>15,973,563</u>

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	19,457,611	<u>22,037,512</u>
売上原価	14,020,365	<u>16,015,444</u>
売上総利益	<u>5,437,245</u>	<u>6,022,067</u>
返品調整引当金繰入額	17,729	8,888
差引売上総利益	<u>5,419,515</u>	<u>6,013,178</u>
販売費及び一般管理費	5,204,076	<u>5,558,420</u>
営業利益	<u>215,439</u>	<u>454,758</u>
営業外収益		
受取ロイヤリティー	25,476	16,448
持分法による投資利益	16,545	-
助成金収入	1,989	10,369
その他	26,304	26,890
営業外収益合計	<u>70,315</u>	<u>53,708</u>
営業外費用		
支払利息	39,251	48,895
為替差損	15,863	865
その他	4,397	5,288
営業外費用合計	<u>59,512</u>	<u>55,050</u>
経常利益	<u>226,242</u>	<u>453,416</u>
特別利益		
負ののれん発生益	-	17,694
貸倒引当金戻入額	37,671	-
その他	-	721
特別利益合計	<u>37,671</u>	<u>18,415</u>
特別損失		
投資有価証券評価損	7,562	21
資産除去債務会計基準の適用に伴う	7,416	-
影響額		
災害による損失	-	85,780
その他	378	14,027
特別損失合計	<u>15,357</u>	<u>99,829</u>
税金等調整前四半期純利益	<u>248,556</u>	<u>372,002</u>
法人税、住民税及び事業税	120,500	69,831
法人税等調整額	30,390	43,048
法人税等合計	<u>90,110</u>	<u>112,879</u>

少数株主損益調整前四半期純利益	158,446	<u>259,122</u>
少数株主利益	21,563	50,107
四半期純利益	136,882	<u>209,015</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	19,457,611	<u>22,176,262</u>
売上原価	14,020,365	<u>16,116,304</u>
売上総利益	<u>5,437,245</u>	<u>6,059,957</u>
返品調整引当金繰入額	17,729	8,888
差引売上総利益	<u>5,419,515</u>	<u>6,051,068</u>
販売費及び一般管理費	<u>5,204,076</u>	<u>5,586,407</u>
営業利益	<u>215,439</u>	<u>464,661</u>
営業外収益		
受取ロイヤリティー	25,476	16,448
持分法による投資利益	16,545	-
助成金収入	1,989	10,369
その他	26,304	26,890
営業外収益合計	<u>70,315</u>	<u>53,708</u>
営業外費用		
支払利息	39,251	48,895
為替差損	15,863	865
その他	4,397	5,288
営業外費用合計	<u>59,512</u>	<u>55,050</u>
経常利益	<u>226,242</u>	<u>463,319</u>
特別利益		
負ののれん発生益	-	17,694
貸倒引当金戻入額	37,671	-
その他	-	721
特別利益合計	<u>37,671</u>	<u>18,415</u>
特別損失		
投資有価証券評価損	7,562	21
資産除去債務会計基準の適用に伴う	7,416	-
影響額		
災害による損失	-	85,780
その他	378	14,027
特別損失合計	<u>15,357</u>	<u>99,829</u>
税金等調整前四半期純利益	<u>248,556</u>	<u>381,905</u>
法人税、住民税及び事業税	120,500	69,831
法人税等調整額	30,390	43,048
法人税等合計	<u>90,110</u>	<u>112,879</u>
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>158,446</u>	<u>269,026</u>

少数株主利益	21,563	50,107
四半期純利益	136,882	218,918

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	158,446	<u>259,122</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,190	22,426
繰延ヘッジ損益	13,828	1,978
為替換算調整勘定	5,362	3,916
持分法適用会社に対する持分相当額	2,443	1,331
その他の包括利益合計	<u>20,444</u>	<u>29,652</u>
四半期包括利益	<u>138,001</u>	<u>229,470</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	126,405	<u>182,637</u>
少数株主に係る四半期包括利益	11,596	46,833

(訂正後)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	158,446	<u>269,026</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,190	22,426
繰延ヘッジ損益	13,828	1,978
為替換算調整勘定	5,362	3,916
持分法適用会社に対する持分相当額	2,443	1,331
その他の包括利益合計	<u>20,444</u>	<u>29,652</u>
四半期包括利益	<u>138,001</u>	<u>239,373</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	126,405	<u>192,540</u>
少数株主に係る四半期包括利益	11,596	46,833

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 9月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	248,556	<u>372,002</u>
減価償却費	78,193	81,240
のれん償却額	74,011	69,199
負ののれん発生益	-	17,694
貸倒引当金の増減額 (は減少)	42,307	<u>17,924</u>
賞与引当金の増減額 (は減少)	14,490	29,525
退職給付引当金の増減額 (は減少)	3,000	2,667
受取利息及び受取配当金	3,372	3,417
支払利息	39,251	48,895
投資有価証券評価損益 (は益)	7,562	21
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7,416	-
災害損失	-	85,780
返品調整引当金の増減額 (は減少)	17,729	8,888
売上債権の増減額 (は増加)	594,290	<u>1,072,534</u>
たな卸資産の増減額 (は増加)	516,575	<u>510,839</u>
仕入債務の増減額 (は減少)	421,673	<u>303,683</u>
前渡金の増減額 (は増加)	89,351	203,963
未払金の増減額 (は減少)	105,576	<u>209,070</u>
未払消費税等の増減額 (は減少)	40,000	<u>92,727</u>
その他	53,033	151,191
小計	<u>71,313</u>	<u>451,390</u>
利息及び配当金の受取額	3,670	3,490
利息の支払額	39,706	49,032
法人税等の支払額	181,109	110,585
災害損失の支払額	-	4,217
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>145,830</u>	<u>611,736</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	52,502	19
定期預金の払戻による収入	230,000	-
固定資産の取得による支出	30,876	36,534
投資有価証券の取得による支出	130,400	20,000

連結の範囲の変更を伴う子会社株式	-	278,464
の取得による収入		
貸付けによる支出	21,320	25,710
貸付金の回収による収入	24,821	24,930
差入保証金の差入による支出	167,585	74,872
差入保証金の回収による収入	38,214	20,249
その他の支出	1,747	6,673
その他の収入	15	788
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>111,379</u>	<u>160,621</u>

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 9月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（ は減少）	296,489	<u>525,000</u>
長期借入れによる収入	200,000	300,000
長期借入金の返済による支出	132,956	290,256
社債の償還による支出	100,000	100,000
株式の発行による収入	-	1,093
配当金の支払額	108,350	108,829
少数株主への配当金の支払額	13,345	10,548
その他	13,614	19,043
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>128,223</u>	<u>752,584</u>
現金及び現金同等物に係る換算差額	<u>6,165</u>	<u>2,736</u>
現金及び現金同等物の増減額（ は減少）	<u>135,152</u>	<u>1,206,435</u>
現金及び現金同等物の期首残高	<u>2,828,188</u>	<u>3,727,040</u>
現金及び現金同等物の四半期末残高	<u>2,693,036</u>	<u>2,520,604</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	248,556	<u>381,905</u>
減価償却費	78,193	81,240
のれん償却額	74,011	69,199
負ののれん発生益	-	17,694
貸倒引当金の増減額(は減少)	42,307	<u>16,247</u>
賞与引当金の増減額(は減少)	14,490	29,525
退職給付引当金の増減額(は減少)	3,000	2,667
受取利息及び受取配当金	3,372	3,417
支払利息	39,251	48,895
投資有価証券評価損益(は益)	7,562	21
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7,416	-
災害損失	-	85,780
返品調整引当金の増減額(は減少)	17,729	8,888
売上債権の増減額(は増加)	594,290	<u>1,218,222</u>
たな卸資産の増減額(は増加)	516,575	<u>433,229</u>
仕入債務の増減額(は減少)	421,673	<u>328,095</u>
前渡金の増減額(は増加)	89,351	203,963
未払金の増減額(は減少)	105,576	<u>106,695</u>
未払消費税等の増減額(は減少)	40,000	<u>88,267</u>
その他	53,033	151,191
小計	<u>71,313</u>	<u>581,390</u>
利息及び配当金の受取額	3,670	3,490
利息の支払額	39,706	49,032
法人税等の支払額	181,109	110,585
災害損失の支払額	-	4,217
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>145,830</u>	<u>741,736</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	52,502	19
定期預金の払戻による収入	230,000	-
固定資産の取得による支出	30,876	36,534
投資有価証券の取得による支出	130,400	20,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	278,464

貸付けによる支出	21,320	25,710
貸付金の回収による収入	24,821	24,930
差入保証金の差入による支出	167,585	74,872
差入保証金の回収による収入	38,214	20,249
その他の支出	1,747	6,673
その他の収入	15	788
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>111,379</u>	<u>160,621</u>

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 9月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	296,489	<u>395,000</u>
長期借入れによる収入	200,000	300,000
長期借入金の返済による支出	132,956	290,256
社債の償還による支出	100,000	100,000
株式の発行による収入	-	1,093
配当金の支払額	108,350	108,829
少数株主への配当金の支払額	13,345	10,548
その他	13,614	19,043
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>128,223</u>	<u>622,584</u>
現金及び現金同等物に係る換算差額	<u>6,165</u>	<u>2,736</u>
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	<u>135,152</u>	<u>1,206,435</u>
現金及び現金同等物の期首残高	<u>2,828,188</u>	<u>3,727,040</u>
現金及び現金同等物の四半期末残高	<u>2,693,036</u>	<u>2,520,604</u>

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

(訂正前)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
給料及び手当	2,470,235千円	2,295,912千円
賞与引当金繰入額	145,386千円	163,044千円
退職給付費用	17,401千円	13,521千円
貸倒引当金繰入額	-千円	<u>15,859千円</u>

(訂正後)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
給料及び手当	2,470,235千円	2,295,912千円
賞与引当金繰入額	145,386千円	163,044千円
退職給付費用	17,401千円	13,521千円
貸倒引当金繰入額	-千円	<u>14,182千円</u>

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

～中略～

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	法人事業	コンシューマ 事業	マーケティング サプライ 事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	10,097,495	1,857,554	10,082,462	22,037,512	-	22,037,512
セグメント間の内部売上 高又は振替高	222,347	28,630	77,684	328,662	328,662	-
計	10,319,843	1,886,184	10,160,146	22,366,174	328,662	22,037,512
セグメント利益又は損失()	525,554	93,997	132,690	564,248	109,490	454,758

～後略～

(訂正後)

～中略～

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	法人事業	コンシューマ 事業	マーケティング サプライ 事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	10,236,245	1,857,554	10,082,462	22,176,262	-	22,176,262
セグメント間の内部売上 高又は振替高	222,347	28,630	77,684	328,662	328,662	-
計	10,458,593	1,886,184	10,160,146	22,504,924	328,662	22,176,262
セグメント利益又は損失()	535,458	93,997	132,690	574,151	109,490	464,661

～後略～

(1株当たり情報)

(訂正前)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	1,272円82銭	1,939円30銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	136,882	209,015
普通株主に帰属しない金額		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	136,882	209,015
普通株式の期中平均株式数(株)	107,543	107,779
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	1,256円28銭	1,897円86銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	1,416	2,353
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		<p>(提出会社) 平成23年8月22日取締役会決議 第8回ストック・オプション (新株予約権 2,000個) 普通株式 2,000株</p> <p>平成23年8月22日取締役会決議 第9回ストック・オプション (新株予約権 2,000個) 普通株式 2,000株</p> <p>なお、これらの概要は「第3 提出会社の状況、1 株式等の状況、(2) 新株予約権等の状況」に記載のとおりであります。</p>

(訂正後)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	1,272円82銭	2,031円18銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	136,882	218,918
普通株主に帰属しない金額		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	136,882	218,918
普通株式の期中平均株式数(株)	107,543	107,779
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	1,256円28銭	1,987円79銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	1,416	2,353
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		<p>(提出会社) 平成23年8月22日取締役会決議 第8回ストック・オプション (新株予約権 2,000個) 普通株式 2,000株</p> <p>平成23年8月22日取締役会決議 第9回ストック・オプション (新株予約権 2,000個) 普通株式 2,000株</p> <p>なお、これらの概要は「第3 提出会社の状況、1 株式等の状況、(2) 新株予約権等の状況」に記載のとおりであります。</p>

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年7月30日

株式会社エフティコミュニケーションズ

取締役会 御中

三優監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 杉 田 純 印

代表社員
業務執行社員 公認会計士 山 本 公 太 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エフティコミュニケーションズの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エフティコミュニケーションズ及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成23年11月11日に四半期レビュー報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。